

簡易水洗便器 クリーンフラッシュ

和風 JZ J8-DG

施工説明書

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明

- ⚠ **警告** 守らないと、重傷を負うことがあります。
- ⚠ **注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
- ⊘ 「禁止」「してはいけません。」
- ⚠ 「遵守」「指示通りしてください。」
- ⊘ 「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

⚠ 警告

浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しないでください。

火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

便器の汚水配管は、必ず便槽に接続ください。

この施工説明書以外の改造はしないでください。

施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。

給水管の接続の際、ボールタップの浮玉が上下、左右に動くことを確認してください。(JZ)

給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りして浮玉がタンク壁に当たり動かなくなると、水が出っ放しとなります。万一、オーバーフローしきれないときは、家財を濡らす原因となります。

オーバーフロー用排水管は、便槽に接続しないでください。

オーバーフロー用排水管は、塩ビ管VU40またはVP30で必ず配管してください。(JZ)

陶器は割れものです。施工前に運送破損の確認と施工時での破損がないかを点検してください。

床に便器を埋め込まないでください。

止水栓からロータンクのボールタップまでの給水管は、揺らしても漏水がないよう確実に配管してください。特に、アングル止水栓で配管されるとき、給水L管(サブライ管)のツバのない止水栓側の接続には注意してください。

直圧がかかっている水道配管のため、漏水した場合、家財を濡らす原因となります。また、給水L管の止水栓側の差込が

便器設置部の床面は水平にしてください。

凍結の恐れのあるときは、注意してください。

電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。

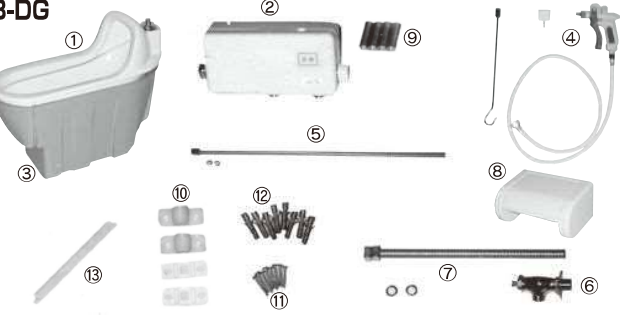
浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。(J8-DG)

凍結防止ヒーター等を取り付ける場合は、各々の説明書をお読みください。

施工の前に

■ 梱包内容をお確かめください

JZ			
			
品 名	数	品 名	数
① 便器本体	1	⑧ フィルター	1
② ロータンク	1	⑨ タンク取付ねじ、座金	4
③ 施工枠(床フランジ付)	1	⑩ 施工枠変形防止さん木	1
④ 洗浄管	1	A 手洗なし用フタ	(1)
⑤ 洗浄管(さし込み付)	1	B 手洗付用フタ	(1)
⑥ オーバーフロー管	1	C 手洗管	(1)
⑦ ワン座	1		

J8-DG			
			
品 名	数	品 名	数
① 便器本体	1	⑧ ペーパーホルダー	1
② 電磁バルブ	1	⑨ 単3アルカリ乾電池	4
③ 施工枠(床フランジ付)	1	⑩ サドルバンド	2
④ 洗浄ガン	1	⑪ 木ねじ4.5×30	8
⑤ フレキシブル管800mm	1	⑫ カールプラグ	8
⑥ 止水栓	1	⑬ 施工枠変形防止さん木	1
⑦ フレキシブル管300mm	1		

■ 別途に用意していただくもの

品 名	用 途
① 塩ビ管VU40又はVP30、エルボ	オーバーフロー排水用(JZのみ)
② 塩ビ用接着剤	
③ シールテープ	水道管とアングル止水栓接続用
④ コーキング剤(シリコンシーラント)	床フランジと導入短管のコーキング用
⑤ アングル止水栓(J8-DGは付属)	
⑥ ペーパーホルダー(J8-DGは付属)	

■ 必要な工具

ドライバー(+)	ロータンク取付木ねじ締め付け用
金ノコ	兼用式の場合施工枠切断用、洗浄管・オーバーフロー管切断用
ノコギリ	塩ビ管切断用
パイプレンチ	アングル止水栓と水道管の締め付け用
自在スパナ(モンキーレンチ)	各部の袋ナット締め付け用
カナヅチと釘	施工枠取付用

配管上の注意事項

- 配管材料は、JIS K6741に準じた硬質塩化ビニル管を使用してください。
肉厚：汚水管(導入管)… 2mm以上(ブロー成形品継手類1.6mm以上)
排気管(臭突管)… 1.5mm以上(ブロー成形品継手類1.2mm以上)
- 汚水管(導入横引き管・導入立管)は、VU100 (JIS規格品)を使用してください。
汚水管(導入管)に使用する継手は、汚水の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。
段差で汚物が引っ掛かるような継手は、使用しないでください。
横引き管途中には、絶対にエルボは使用しないでください。
配管の接合部は確実に接着し、十分な耐久性、水密性、気密性を確保してください。
- 排気管(臭突管)
次の場合は必ず臭突を設置してください。
① 2階配管等、汚水管の長さが1.5m以上の場合
② 小便器を設置する場合。
排気管の先端には排気トップ(臭突ファン、ベンチレータ等)を設けてください。
排気トップは、防臭機能に支障をきたさない性能のものを使用してください。
排気トップの下端は、建物の出入り口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けてください。
臭突ファンの風量は、70m³/h以下のもの(当社臭突ファン)を使用してください。J8-DGはオートフラPPER構造のため臭突ファンの風量が強いとフラPPERの開き放しの原因となります。
- 配管工事完了後、約10%の水を流して配管接合部からの漏水がないか確認してください。
- 水道配管
水道配管工事は各都市水道局の指定店で行ってください。
使用水压範囲：JZは49KPa (0.5kgf/cm²)～735KPa (7.5kgf/cm²)、J8-DGは147KPa (1.5kgf/cm²)～686KPa (7.0kgf/cm²)の範囲で使用してください。
J8-DGは、水道圧39KPa (0.4kgf/cm²)からでも使用できますが、便器の洗浄力が多少弱くなります。特に家庭用ポンプを使用してポンプから便器までの距離が遠かったり、他の蛇口を開いたりした場合に水道圧が低くなります。そのときは洗浄ガンを使用するようお客様にご説明願います。また水道圧 686 KPa (7.0kgf/cm²)以上では器具の破損や故障の原因となります。水道配管はしっかりと固定してください。水撃作用(ウォーターハンマー)の原因となります。
水道配管内の砂やゴミは完全に取り除いてから電磁バルブに接続してください。(J8-DG)
電磁バルブに砂やゴミが詰まると水が開放しになり故障の原因となります。
- 2階以上や地下室のある1階に設置する場合、万一のことを考えてトイレルームの防水をお勧めします。
- オーバーフロー屋外配管からの臭気上りについて(製造物責任法を考慮した注意書きについて)
オーバーフロー配管は必ず屋外まで行ってください。また配管にトラップを設ける等の防臭対策をしてください。但し、凍結の恐れのある場所ではトラップ内の水やオーバーフロー管先端の凍結には十分注意して施工してください。オーバーフロー配管は絶対に便槽内に接続しないでください。便槽内があふれる恐れがあります。

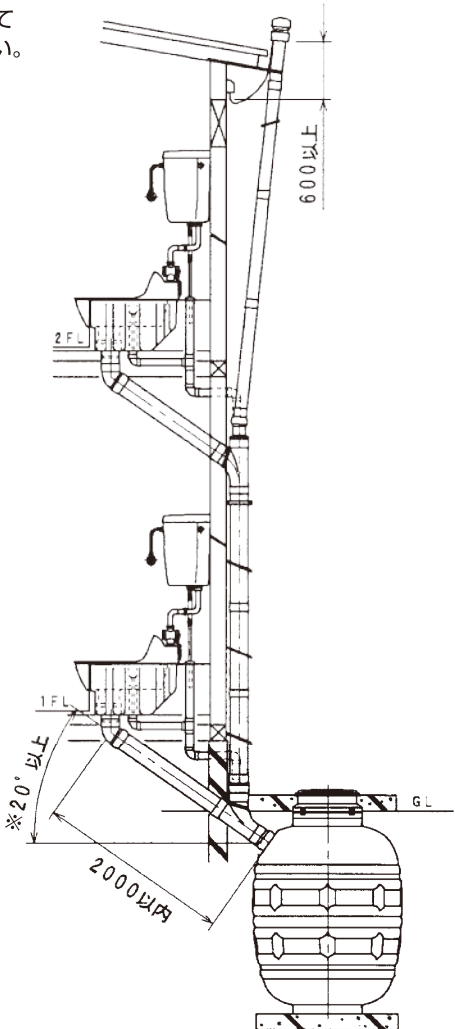
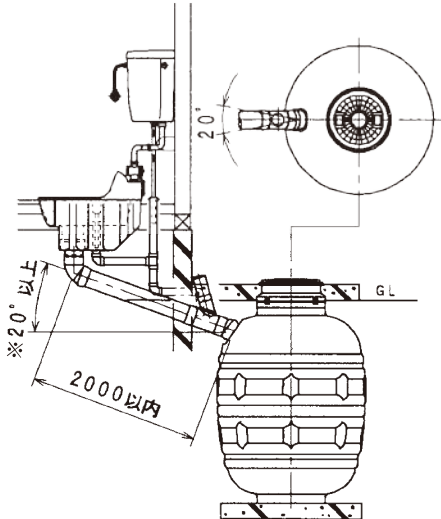
標準施工図

便槽の容量

1人1ヶ月で約100～150%でご計画ください。但し、来客や家族数が増えることを考えて少し大きめのものをご使用ください。最低でも500%以上の容量のものをご使用ください。

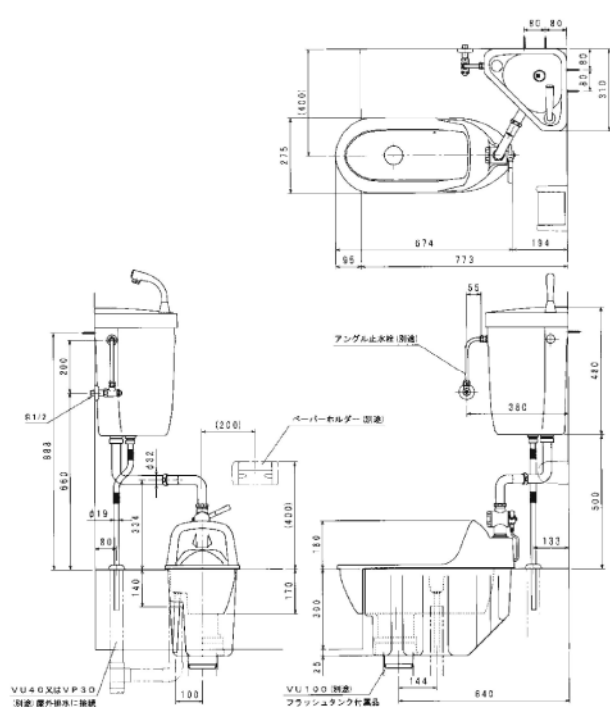
部品仕様 フラッシュタンクNV型

	名 称	部 品 数		備 考
		1階用	1・2階用	
1	槽 本 体	1	1	
2	マンホール	1	1	ø340
3	導入自在ソケット114	1	1(2)	ø114
4	臭 突 チ ーズ	1	—	ø114×80
5	導 入 管	1	2	VU100 L=800
6	導 入 短 管	1	2	VU100 L=400
7	VU自在エルボ	1	2	ø114
8	臭突接続パイプ	1	—	ø80
9	導 入 チ ーズ	—	1	ø114×80
10	導入管スリーブ付	—	3	VU100
11	振 止 金 具	—	1	
12	導 入 チ ーズ F	—	1	

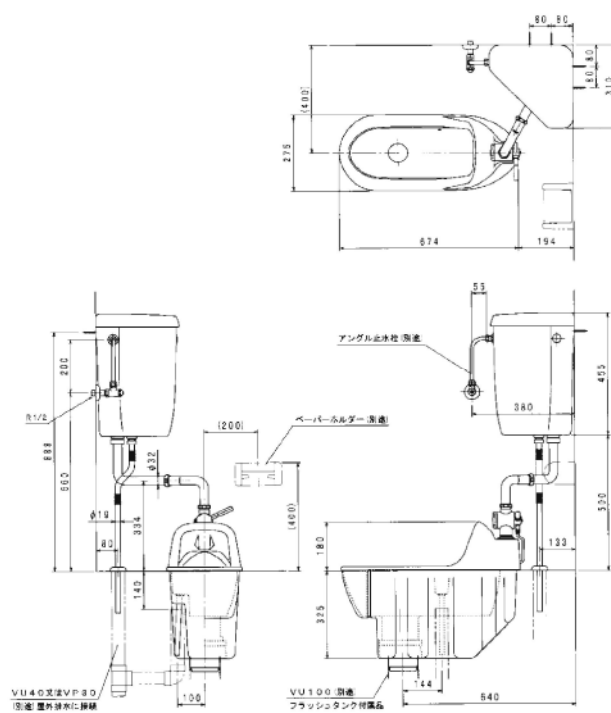


※20°以上はJZのみ
J8は30～40°

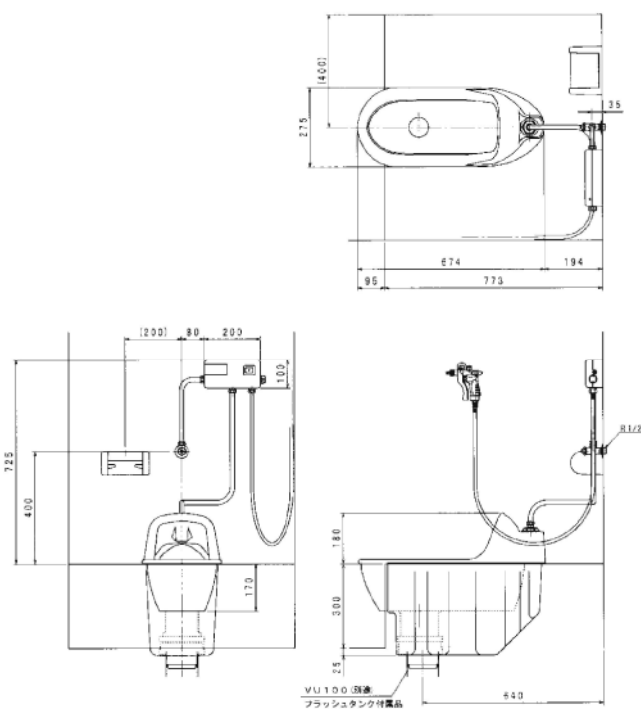
JZ-K 兼用式



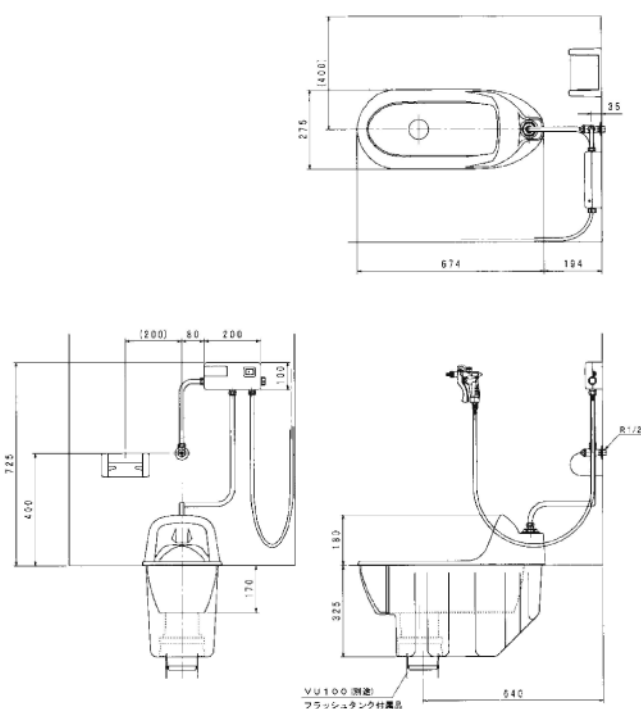
JZ-N 平床式



J8-DG 兼用式



J8-DG 平床式

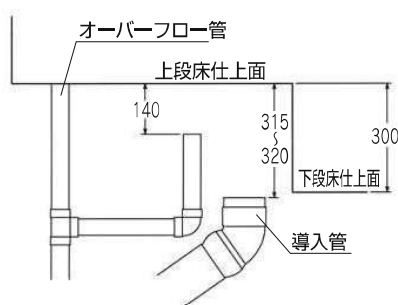
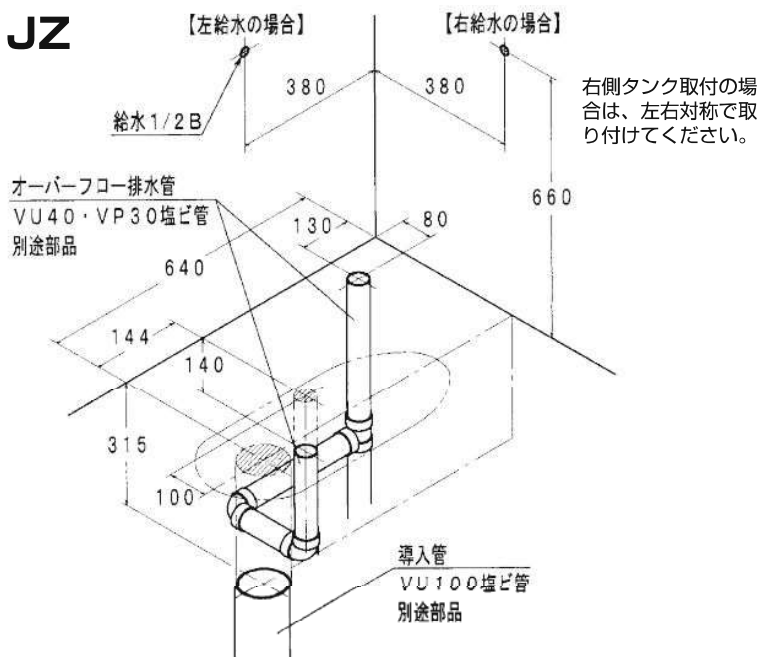


■ 施工の手順

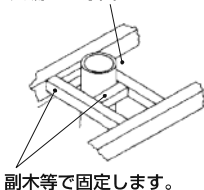
1 給排水管の位置決め

導入管・オーバーフロー排水管・給水管の位置を決めて配管してください。

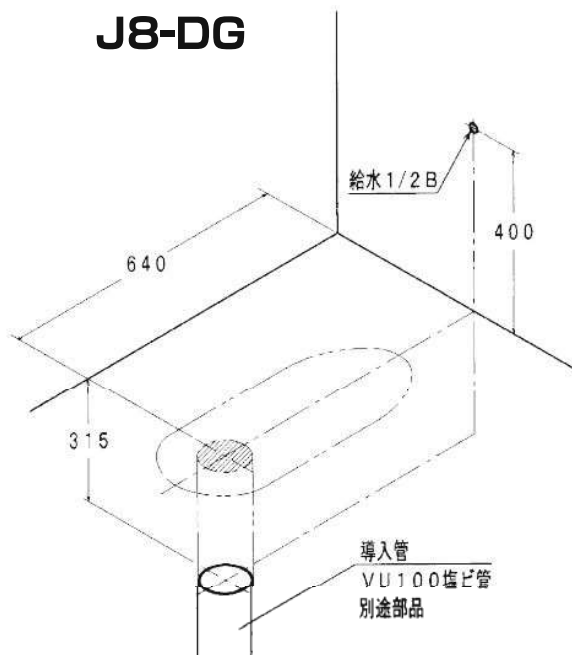
JZ



立ち上がり、真直に立ち上げる。斜めに取り付くと臭気漏れの原因となります。



J8-DG



【注意】

便器設置部の床面は水平にしてください。
便器のガタツキや洗浄不良の原因となります。

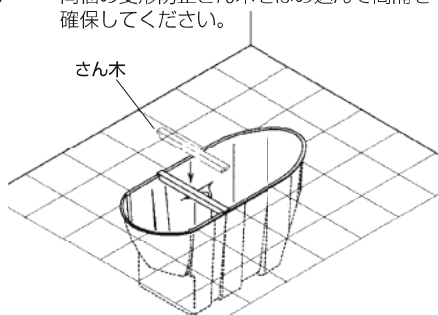
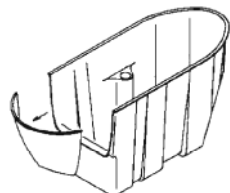
2 施工枠の取付

排水管の位置と高さを確認して施工枠を取り付けてください。

【兼用式の場合】

前カバー部の「兼用式切断線」より金ノコ等で切断してください。

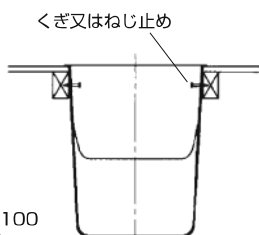
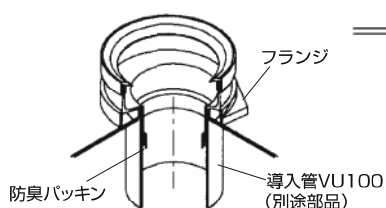
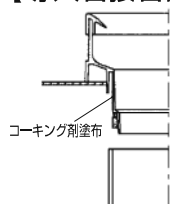
同梱の変形防止さん木をはめ込んで間隔を確保してください。



【平床式の場合】

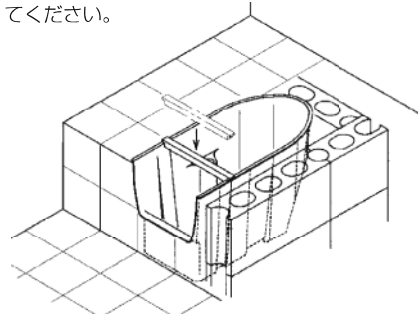
そのまま取り付けてください。

【導入管接合詳細】



【土盛施工の場合】

床下土盛りの場合、施工枠周囲にブロック又はレンガを置き、土圧が直接掛からないようにしてください。



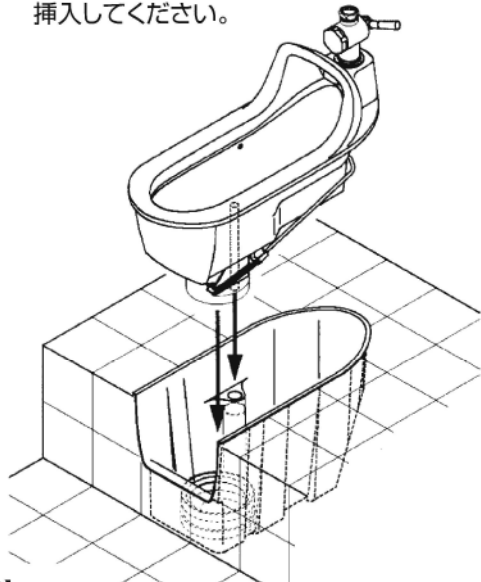
〈注意〉

- ・ **フランジと導入管の間は、確実にコーキングしてください。**
不十分のとき臭気漏れの原因となります。
- ・ **施工枠上面のツバは床仕上面のにせるように施工してください。**

JZ

3 便器本体の据付

便器オーバーフロー管を排水管に差し込み、ベース本体を床フランジに差し込んで便器本体を施工枠に挿入してください。

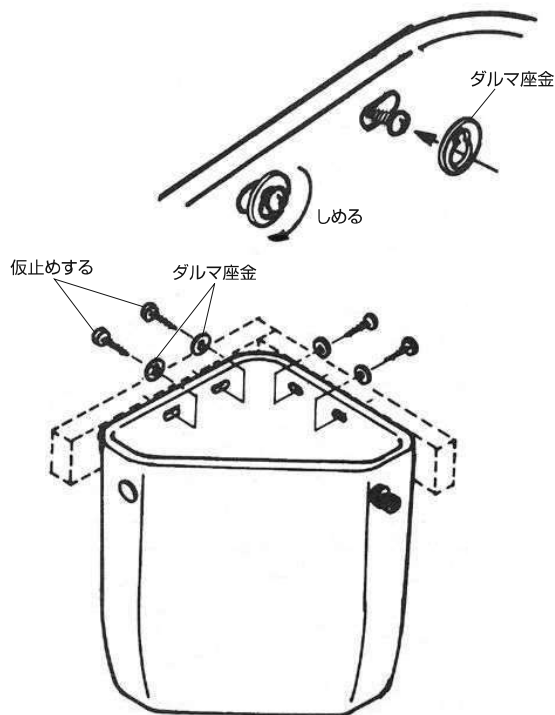


【注意】

- ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。
臭気漏れや便器のガツキの原因になります。
- ベース本体と床フランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。
メンテナンスができなくなります。

4 ロータンクの取付

ロータンクを壁に取り付けてください。木ネジを片側2ヶ所仮止めし、ロータンクをかけてからダルマ座金をはめ、木ネジを締め付けてください。残りの2ヶ所も締め付けてください。

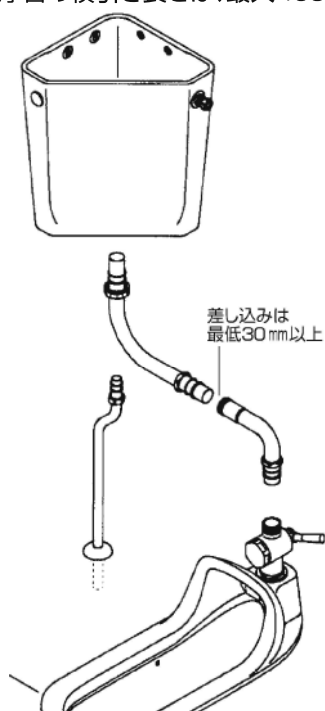


5 洗浄管・オーバーフロー管の接続

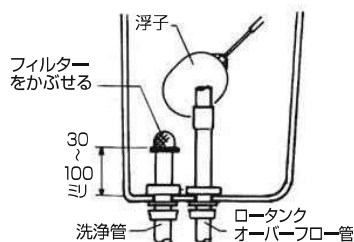
取付寸法に合わせて洗浄管・オーバーフロー管を切断し、各袋ナットを締めて接続してください。

そのとき、パッキンとスリップ板を入れ忘れないようにしてください。

洗浄管の横引き長さは、最大460mmです。長さが足りない場合は片アジャストパイプAPH-17を使用してください。

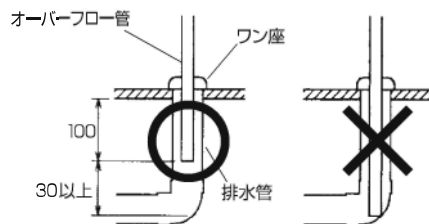


【洗浄管の取付】



洗浄管をロータンクの中に突き出し、同梱のフィルターを洗浄管の上端にかぶせてください。ボールタップの浮子がスムーズに上下するかを確認してください。

【オーバーフロー管の取付】



【注意】

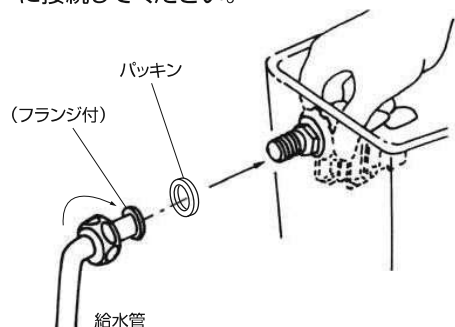
オーバーフロー管下端を排水管のエルボに当てないでください。
オーバーフロー管の下端が凍結したり、排水しきれず床にあふれ家財を濡らす原因となります。

【注意】

- 洗浄管は水平・垂直に取り付け、差し込みは最低30mm確保してください。
- 管切断後の切粉が管内に残らないように水洗い等してから取り付けてください。
給水バルブの漏水の原因となります。

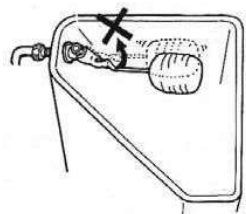
6 給水管・手洗の接続

アングル止水栓を取り付け、給水管をボールタップに接続してください。

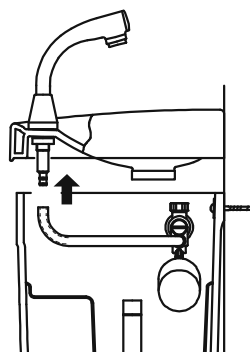


【注意】

給水管の袋ナットを締め付けるとき、ボールタップが共回りしないようにしてください。共回りすると、ボールタップの浮玉がロータンクの壁に当たって動かなくなり水が放出しとなります。オーバーフローしきれないとき、ロータンクから水があふれて床が水浸しになります。



【手洗付の場合】



ゴム管を手洗管に差し込んでください。抜けないように奥まで差し込んでください。

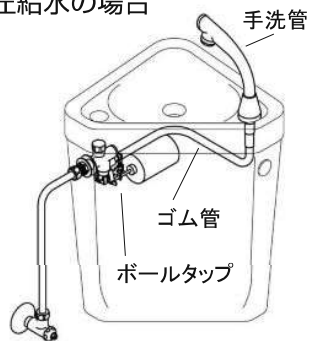
〈水勢の調整〉



ボールタップが全開に吐水するまで手で浮玉を押し下げてオーバーフロー管へ水をあふれさせます。このとき、水面がオーバーフロー管より約10mm以上に上昇しないよう止水栓を調節してください。調整しないと、故障のときオーバーフローしきれずロータンクから水があふれ床が水浸しになります。

給水位置とボールタップ及び手洗管

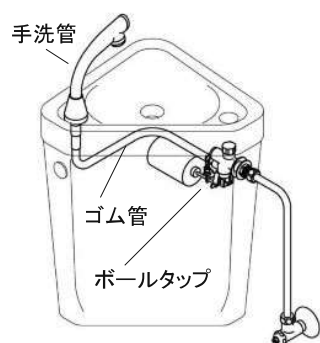
左給水の場合



給水位置を左給水から右給水にする場合、ボールタップと手洗管共に付け替えてください。

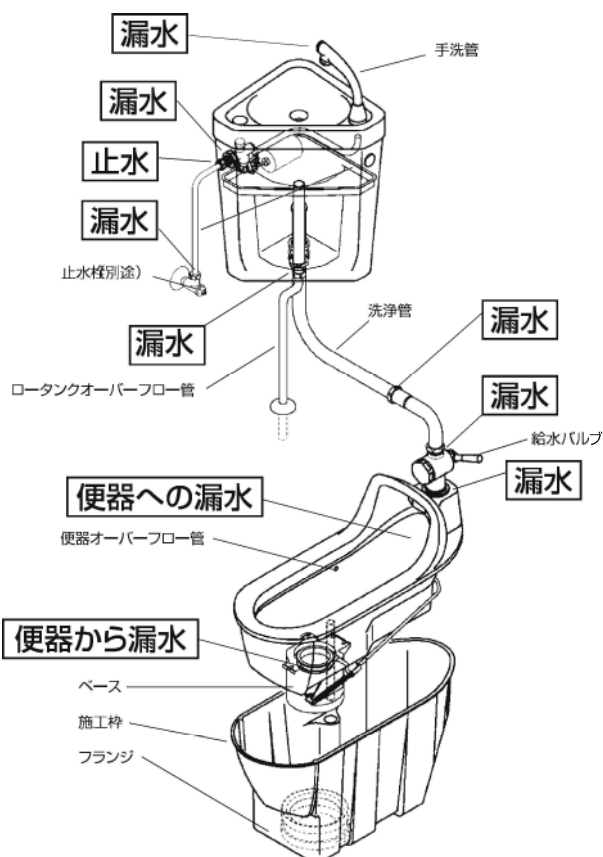
手洗管の取付位置は、ボールタップの取付位置の反対側にしてください。ボールタップと同じ側に手洗管は取り付けできません。

右給水の場合



7 点検

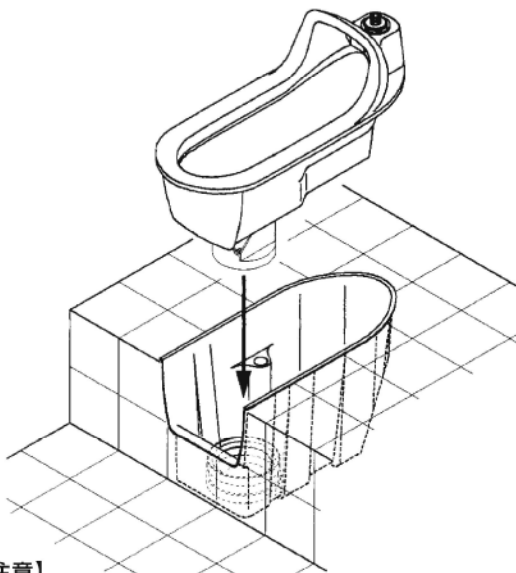
ハンドルを操作し、フラッパーの開閉や洗浄水の流れ状態、各部の漏水の有無を点検してください。



J8-DG

3 便器本体の据付

ベース本体を床フランジに差し込んで便器本体を施工枠に挿入してください。



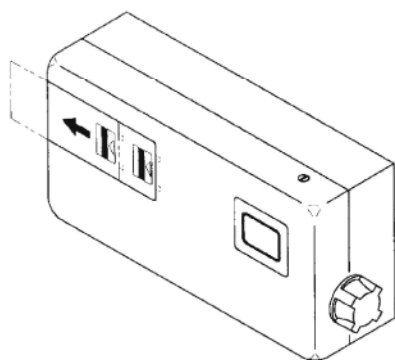
【注意】

- ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。臭気漏れや便器のガタツキの原因になります。
- ベース本体と床フランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。メンテナンスができなくなります。

5 乾電池のセット

付属の単3アルカリ乾電池×4本をセットしていますので、確認してください。

- ①左にスライドして電池フタを開けてください。
- ②電池ボックスを手前に引き出してください。
- ③単3アルカリ乾電池が4本とも(+)(-)が間違っていないかを確認してください。



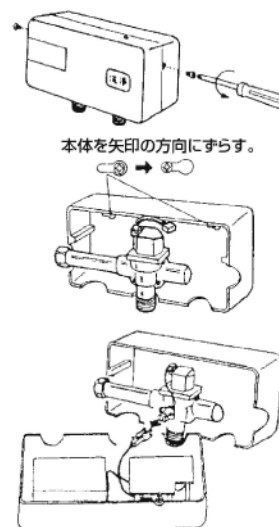
(注意)

- ・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、破裂したりする恐れがあります。また、便器への水が放出しになることがあります。

4 電磁バルブの取付

電磁バルブを壁に取り付けてください。

- ①+ドライバーで左右2本のねじを外して、カバーを開けてください。
- ②電磁バルブを壁に木ねじで取り付けてください。取り付け位置に電磁バルブを付けてマジック等で木ねじの位置に印を付け、先に木ねじ4本を3分2位ねじ込んでおきます。次に電磁バルブの穴を木ねじに通して右にずらした後、木ねじを完全に締め付けてください。
- ③基板と電磁弁の配線を接続して、カバーを取り付け左右2本のねじを付けてください。接続の際、差し込む方向がありますのでご注意ください。



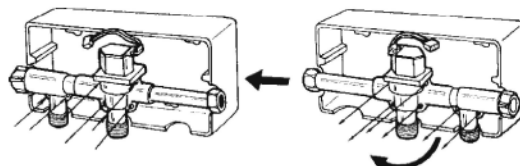
本体を矢印の方向にずらす。

右給水の場合

バルブ本体を固定している6本のねじを外し、バルブ本体を反転してねじを締め付けてください。

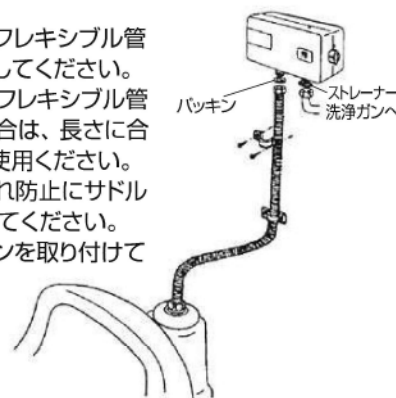
【注意】

タッピングねじのため、締め過ぎてねじが空転しないよう注意してください。



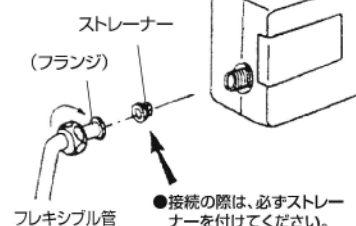
6 フレキシブル管と洗浄ガンの接続

- ①電磁バルブと便器をフレキシブル管(長さ800mm)で接続してください。給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。
- ②フレキシブル管の振れ防止にサドルバンド2ヶを取り付けてください。
- ③電磁バルブに洗浄ガンを取り付けてください。その時、必ずストレーナーを入れてください。



7 止水栓とフレキシブル管の接続

- ①止水栓にシールテープを巻いて水道配管の給水口に取り付けてください。
- ②止水栓と電磁バルブをフレキシブル管(300mm)で接続してください。給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。



(注意)

電磁バルブとフレキシブル管の間に必ずストレーナーを入れてください。

8 水量の調節

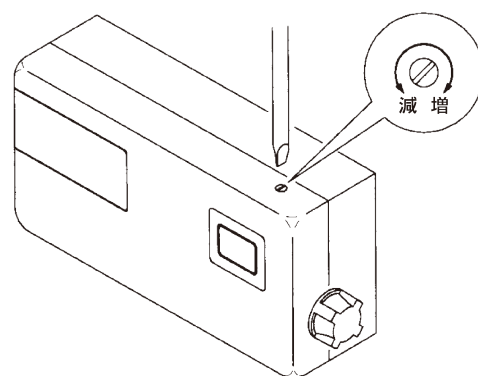
電磁バルブの水量は200cc/回にしていますが、設置場所の水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

時計回り：増

反時計回り：減

【注意】

ドライバーで強く押したり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。



9 点検

取付完了後、次の点検を行ってください。

●電磁バルブの押しボタンを押して

- ①フラッパーの開閉状態
- ②便器への洗浄水の流れ状態
- ③各部の漏水の有無

●洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンのボタンを押して

- ①洗浄ガンの水の出方
- ②各部の漏水の有無

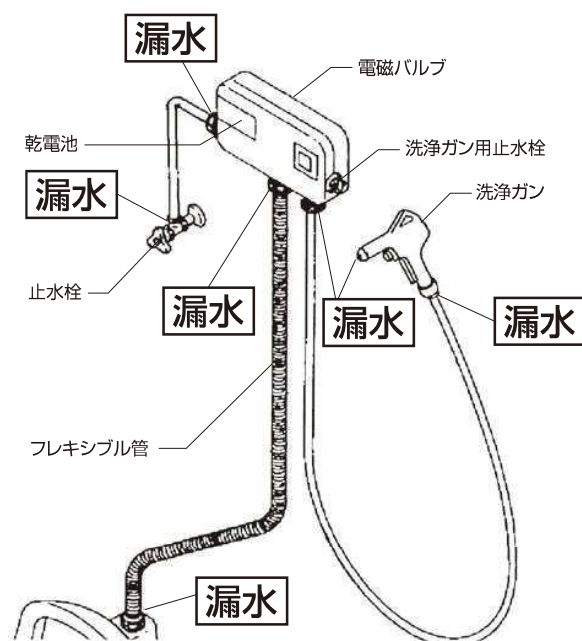
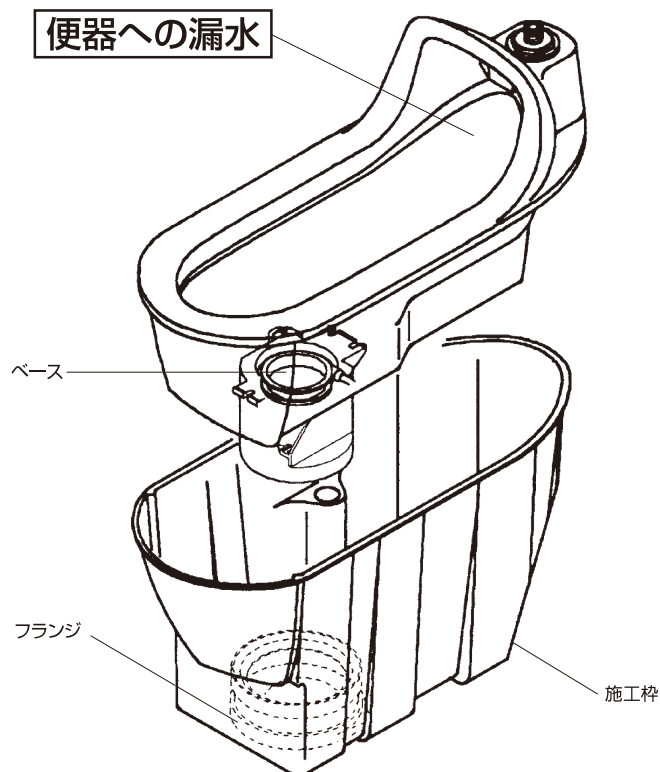
※点検後、洗浄ガン用止水栓を必ず閉めてください。

●ウォーターハンマーが発生する場合はいずれかの処置を行ってください。

- ①水道配管の固定箇所を増してしっかり固定する。
- ②便器の洗浄に影響のない程度に止水栓を絞る。
- ③ウォーターハンマー防止器を取り付ける。

●洗浄水が便器の外へ飛び出す場合

- ①止水栓を絞って飛び出さないように調整してください。



工事完了後
取扱説明書(保証書付)を必ずお客様にお渡し
ください。
保証書は必要事項を記入してお渡しください。

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金1-13-1
TEL092-521-1800